

しゃめいまるあやのマル秘写真オークション

ルールシート

<ゲームの概要>

伝統の幻想ブン屋、射命丸文。彼女が取材のために撮影した写真の中には、『文々。新聞』に使用されなかった写真も多々あるでした。そんな写真が溜まっていく中、彼女は「とある計画」を思いつきました。今まで撮った「あやややな写真」や「せくし〜んな写真」でオークションを開こうと。こうして「しゃめいまるあやのマル秘写真オークション」が開催されることになったのでした。「入札カード」を駆使して、自分のお気に入りの写真を集めて下さい。

プレイヤー数／2～8人（多いほど楽しめます）
プレイ時間／約30分

- 入札カード／56枚（裏面が朱色のカードです）
- 写真カード／41枚（裏面が緑色のカードです）
- スペルカード／3枚（裏面が緑色のカードです）

総カード数100枚

<ゲームの準備>

カードは「入札カード」「写真カード」「スペルカード」の3種類があります。カードに関する詳しい説明は、裏面<カードの説明>を参照して下さい。
「入札カード」をよくシャッフルして、プレイヤー全員に裏向きで7枚ずつ配ります。これを手札と呼びます。残りは山にして側に置いておき、「入札山札」とします。
「写真カード」と「スペルカード」を裏向きで集め、シャッフルして場の中央に置き、「写真山札」とします。「写真山札」から、1番上の1枚を表にして場に出します。じゃんけん等で1番最初に手番を行うプレイヤーを決めます。
※最初の1枚目が「スペルカード」だった場合は、再度「写真山札」をシャッフルして「写真カード」を出して下さい。

<ゲームの進行>

【入札】

まず、最初のプレイヤーが手札の中から「入札カード」を1枚選び、他のプレイヤーに見えるようにして、自分の前に出します。時計回りに、次のプレイヤーの手番になります。次のプレイヤーも同様に、手札の中から「入札カード」を出します。「入札カード」は全てのプレイヤーが必ず出さなければなりません。

【落札】

全てのプレイヤーが「入札カード」を出し終わった時点で、1番強い「入札カード」を出していたプレイヤーが、場に出ている「写真カード」を落札したことになります。落札した「写真カード」は、そのプレイヤーの前に置きます。
ただし、複数のプレイヤーによって同じ「入札カード」が出されていた場合、それがどんなに強い「入札カード」でも一切無効となります。他のプレイヤーが出した「入札カード」のみで落札の判定を行います。場に出た全ての「入札カード」は「捨て札」となります。場の側の「入札山札」とは別にして、置いておきます。

※場に出た全ての「入札カード」が無効となった場合は、入札のやり直しです。手札から新たに「入札カード」を出しなおします。

「写真山札」の1番上の1枚を表にして場に出して、入札と落札を繰り返します。前の回に「写真カード」を落札したプレイヤーが、最初の手番のプレイヤーとなります。

【手札の補充】

はじめに配られた7枚の「入札カード」を使い切ってしまうまで補充はしません。手札が全てなくなった場合、「入札山札」から、あらかじめ7枚ずつ配ります。「入札山札」が無くなった場合、「捨て札」を集めてシャッフルし「入札山札」とします。

【スペルカード】

「写真山札」から表になったカードが「スペルカード」だった場合、全てのプレイヤーは、そのカードに書かれている指示に従います。その後、「スペルカード」を表のまま、ゲーム終了まで場の側に置いておきます。

【ゲームの終了】

「写真山札」が無くなったら、ゲームは終了です。各プレイヤーは自分の落札した「写真カード」の得点を合計します。マイナス得点の「写真カード」もあるので注意して下さい。もっとも合計得点が高いプレイヤーが勝者となります。

※続けてゲームを行う場合は、前のゲームの勝者が1番最初に手番を行うプレイヤーとなります。

【もう一つの入札方法】

入札において、全プレイヤーが同時に「入札カード」を公開する方法もあります。この場合は、駆け引きの要素が減りますが、ゲーム時間を短縮することが出来ます。色々とはウスルール（独自ルール）を作ってみるのも楽しみ方の1つです。

